



文教大学教育研究所
〒343-8511
埼玉県越谷市南荻島 3337
Tel. 048-974-8811

教育研究所 ニュース

<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/>

2014.9 第41号

- 巻頭言
- 海外の教科書所蔵一覧
- 世界の教科書展（インドの教科書）、デジタル教科書展のお知らせ
- 第84回「定例研究会」、
「文教大学の授業」

OECD 「国際教員指導環境調査（TALIS）2013」の結果より ～少人数学級より教員育成、待遇改善が課題～

文教大学教育研究所 所長 今田 晃一

経済協力開発機構（OECD）は、2012年に世界65カ国・地域の15歳、約51万人を対象に実施した国際学習到達度調査（PISA）の結果を公表した（2013年12月）。日本の平均点は、「読解力」538点で4位、「数学的リテラシー」539点で7位、「科学的リテラシー」4位で547点、と全3分野で2000年の調査開始以降で最も高く、順位も前回は上回った。2003年の調査で順位が急落したいわゆる「PISAショック」以降、ゆとりか詰め込みかという二者択一ではなく、学力向上に向けたバランスのいい施策と現場との連携の成果である、というのが専門家の方の見方である。教育現場の先生方の日々の努力に改めて敬意を表したい。

一方、同じくOECD加盟国33か国、11万人を対象とした「国際教員指導環境調査」（TALIS=Teaching And Learning International Survey 2013）の結果が発表された（2014年6月25日）。本調査は、日本では校長を含む中学校教師3700人が対象。調査項目は、校長の指導力、職能開発、教員評価、指導実践、仕事への満足度などである。結果は改めて現場の日々の「多忙感」が、教員の指導力への自信を奪っているという現状が明らかになった。質問では「生徒の批判的な思考を促す」（16%）、「生徒に勉強ができると自信をもたせる」（18%）など、特に生徒に主体的な学びを促すことについての項目に対して自信をもつ教員が少なかった。また、「教員の役割は生徒自身の探求を促すこと」などとする項目では90%以上で、教員の使命感の強さは世界でもトップクラスである。

OECD教育局長アンドレアス・シュライヒャー氏は、教員の質の向上こそが最も重要としてとらえ、「日本は少人数学級を進めており、教員の質の向上にはあまり予算が割かれていない。それどころか、比較的高かった教員の給与が引き下げられている。給与は優秀な人材確保の重要な要素である。学級規模は学力と何の関係もない。TALISによると、「学級規模は、教員の満足度とも関係がない。教員の質は、学級の規模よりも重要だ。少人数学級も悪いことではないが、日本も予算が取れたなら、少人数学級ではなく、教員の質に投資した方が良い」と答えている（読売新聞：2014.6.26）。

このように日本の先生方は、使命感が強く、日々努力し成果が出来ているにもかかわらず指導方法に自信がもてないでいる。これは教員に対する社会からの期待や要求があまりに多いことによる必要以上の謙遜であり、多忙感から来るあせりであろうか。筆者が関わった多くの学校でも、能力が高く仕事ができる人に校務分掌が集中し、まじめで熱心な、子ども思いの先生ほど疲弊しているという状況は、年々深刻化していると実感している。まずは学校現場における負担の平等から取り組みたい。

教育研究所所蔵の 海外の教科書

教育研究所では1991年の創設時より海外の小学校・中学校教科書を収集している。これまでに収集した教科書の内訳は下表のとおりである。

研究部ではこれらの教科書をもとに各国の教育制度や教育事情を研究し、その成果を藍蔘祭における「世界の教科書展」において毎年発表している。今年度はインドの教科書を集め、現在までに小学校の教科書を計189冊購入した。来年度

はトルコの教科書を取り上げる予定で、すでに教科書の収集作業を進めている。

海外の教科書を収集・保管する学術機関は少なく、またそれらの購入も容易ではないため、ここ数年ではマスコミをはじめとする各方面からの問い合わせや取材申し込みが増えており、貴重な資料として注目されている。海外の教科書については、貸し出しはおこなっていないが、研究所での閲覧は自由であるため、ご覧になりたい方は教育研究所までご連絡のうえ、お越し頂きたい。(10号館2階) (紀井佳奈子)

小学校 (2014/8/31 現在)	国語	社会	算数	理科	生活科	総合科	楽しい生活	音楽	美術	体育・健康	実科	英語	日本語	道徳・宗教	国際理解	情報	その他	計(冊)
アメリカ		1	29															30
イギリス	6	12	6	6												4		34
インドネシア	6	12	6	6					6	2		6		6			6	56
オーストラリア	63	4	23	18					6	11	6		3	5	2		10	151
オランダ	2	3	6	6								1					1	19
韓国	26	14	23	16	4		4	4	4	4	2	6		10			10	127
シンガポール			22	13						6		5						46
スイス	2		1															3
スペイン	6	4	6	6		3						6		7		2	1	41
スリランカ	7		5									6		5				23
タイ	12	6	7	6	1	1			2	6	6	6					6	59
中国	10	11	16	15				6	5			4		6			1	74
ドイツ			4			4												8
トルコ		2	5	2														9
ハンガリー	4		3		2							1					2	12
フィンランド	28	7	26	18								10						89
フランス		10	7															17
ポーランド	1		1	1														3
マレーシア	14	3	17	11	1					6		10		16			8	86
ロシア	51	1	27	3	26			4	9	4	11	36				7	3	182
ブラジル	10	9	9	9					5			5		11			6	64
インド	143		5			10				7				9		15		189
計	391	99	254	136	34	18	4	14	37	46	25	102	3	75	2	28	54	1322

内訳には、ワークブック、教師用指導書を含む。他に、中学校 387 冊（13 カ国）、高校 50 冊（4 カ国）を所蔵。

第 21 回 世界の教科書展 「インドの教科書」のお知らせ

10月31日～11月2日藍蔘祭参加/8202 教室

IT 産業が急速に発展するインドにおいて、その最大の要因は優秀な人材の豊富さにもとめられる。その背景には伝統的に数学教育に力を入れていることがあげられる。しかしながら、現在、初等教育を受けていない児童の数は全世界で 1 億 400 万人にのぼり、その 4 分の 1 がインドの子どもたちである。1999 年に 3900 万人であった未就学児童(6-14 歳)の数は 2003 年には 2500 万人にまで減少し、貧困削減・教育普及において大幅な改善が見受けられるが、依然として多くの問題を抱えている。今後どのような改善が試みられるかは、インドの将来にとってだけでなく、国

際的な開発事業においても重要な関心事である。今回の《世界の教科書展》ではインドの教科書を取り上げ、インドの小学校ではどのような教育が実際に行われているのかを紹介する。

(研究部主任 平 正人)



インドの教科書

2014 年度 デジタル教科書展「タブレットを活用した模擬授業」のお知らせ

10月31日～11月2日藍蔘祭参加/8202 教室

毎年の「世界の教科書展」に加えてデジタル教科書の展示コーナーを、試行的に展示した。(写真上)。

文部科学省は2020年までにデジタル教科書と児童生徒一人一台のタブレットを配布し、ICT(情報通信技術)を利用した一斉授業に加えて、個別学習、協働学習の充実をめざすとしている。

デジタル教科書は、大きく分けて指導者用デジタル教科書と学習者用デジタル教科書の2種類がある。本展示では、指導者用デジタル教科書では東京書籍の算数(1年生～6年生)をデジタルテレビで操作する状態で、学習者用デジタル教科書では東京書籍のiPad版の高校教科書(家庭科、国語、世界史、地理、数学、生物、化学、情報、英語)9種類を観覧者が自由に使用できる状態で設置し、好評を得た。ただ実際のどのように授業として展開するのかという質問が多数寄せられた。

そこで今年度は、iPad版のデジタル教科書等の種類をさらに追加するとともに、実際にタブレット型情報端末を活用した授業実践を行っている本研究所の客員研究員による模擬授業を行う。また、

文教大学の授業で作成したiPad用デジタル教材(写真下)も活用し、教育におけるデジタルの可能性をさらに追究する場としたい。

(教育研究所所長 今田 晃一)



2013年度のデジタル教科書展の様子



学生が授業で作成した iPad 対応のデジタル教材 (模擬授業で活用)

第 84 回定例研究会のご案内

文教大学教育研究所主催の「第 84 回 定例研究会」が下記の通り開催されます。「特別講座」では、将来、教職を目指す者にとって今、何をしておくべきかについて、越谷市教育委員会の山口徳明先生にご講演をいただきます。「定例研究会」では、客員研究員による5題の発表が予定されています。関心のある方は是非ともご参加ください。(研修部主任 加藤純一)

【日時】 平成 26 年 10 月 11 日 (土) 13 時～

【特別講座】 文教大学 12 号館 12101 教室

〔演題〕 教職をめざす皆さんへ ～今後特に教員に求められる資質・能力～

〔講師〕 越谷市教育委員会学校教育部指導課教育センター教育研究担当副主幹

山口徳明先生



〔概要〕 教育者としての使命感、人間の成長・発達に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養、そしてこれらを基盤とした実践的指導力といった能力が、いつの時代にも教員に求められる資質能力であるとされています。さらにこれからの教員は、変化の時代を生きる社会人に必要な資質能力をも十分に兼ね備えていなければなりません。教職をめざす皆さんに、「教師になるための条件100：自己評価チェック表」を使いながら、学校の現状や教員のすばらしさを伝えつつ、学生時代に取り組むべき課題について共に考えていきたいと思います。

【定例研究会】 文教大学 12 号館 12102 教室 14 時 10 分～

〔発表者〕

- ・「幼稚園、保育所と小学校とのカリキュラム接続の研究」 梨子千代美
- ・「社会教育実践としての『話し合い学習』～ジェンダーを学ぶ視点から～」 阪本 陽子
- ・「学校・地域が連携する家庭教育支援の考察」 栗原 保
- ・「豊かな人間性を育む学級経営の実践 ～自己肯定感を高める指導法の工夫～」 清水香保里
- ・「iPadを用いた授業づくり ～iPad touchを活用した実験・観察～」 長田朋之
- ・「教育ICTを活用した授業づくり「朝日新聞デジタルfor school」を用いた実践～」 村橋直樹

6月に発行しました「教育研究所ニュース」第40号において、第84回定例研究会の開催日程を10月5日と載せましたが、これは10月11日の誤りです。ここにお詫びとともに訂正をいたします。

第 85 回定例研究会：平成 27 年 3 月 7 日 (土) 13 時～ 文教大学 10 号館 1035 教室

〔発表者〕 ・「学校事務からみた生徒支援のありかた」 小林大介

・「よりよい学級経営を目指して ～新任教員の視点からの再考～」 小関友美子

2014 年度『文教大学の授業』執筆者紹介

- 第 48 号 健康栄養学部 秋吉美穂子 先生 (既刊)
- 第 49 号 教育学部 吉田正生 先生 (既刊)
- 第 50 号 人間科学部 岡田 斉 先生
- 第 51 号 文学部 武内佳代 先生

2014 年度 教育研究所スタッフ

- | | |
|-------|-------|
| 所 長 | 今田 晃一 |
| 研究部主任 | 平 正人 |
| 研修部主任 | 加藤 純一 |
| 教 員 | 早川 明夫 |
| 事 務 | 紀井佳奈子 |